

郡上農林事務所の普及活動状況 [6月]

令和元年6月25日現在

今月の重点活動

■夏秋トマト 地域別研修会を開催

郡上園芸特産振興会夏秋トマト部会では6月20日から24日に地域別研修会を開催し、部会員の栽培技術の向上に努めた。郡上市は高鷲、石徹白といった高標高地域から八幡、和良のような低標高地域にかけてトマトが栽培されているため、管内を6地域に区分し、地域の状況に合わせた現地研修会を毎月実施している。

今回の研修は梅雨時期から梅雨明けまでの草勢維持を図るため、急激な天候の変化に合わせた対策や少量多かん水、通路かん水の積極的な利用によりトマトの生育を促すことを農業普及課より説明した。

近年は気象災害等により収量が低下傾向であるが、若手生産者も増えてきていることから、栽培技術の徹底により収量の向上を図っていく。



【意見交換をする部会員】

多様な担い手づくり

■水稲 郡上産米のブランド化を目指して

郡上市の意欲ある稲作農家から構成される「郡上産米ブランド化研究会」では、昨年度から若手農業者のワークショップによる郡上産米のブランド化方法について協議しており、6月20日に郡上総合庁舎にてワークショップを行った。

当日は、ブランド化に向けては統一的な産地PRが必要との意見に至り、昨年から検討しているロゴの製作を本格的に開始することになった。また、製作費用についても、この活動に賛同する農家からの出資を募る方法を検討している。

今後も農業普及課は、関係機関と連携を図り、郡上産米のブランド化に向けて、各種方面より支援を続けてゆく。



【ワークショップの様子】

魅力ある農村づくり

■女性農業経営アドバイザー 中濃ブロック活動で食育かるたづくり

6月14日、関市の中濃総合庁舎において、中濃ブロック女性農業経営アドバイザー全体会議を実施した。中濃ブロックでは、郡上、中濃、可茂のアドバイザーが合同で活動している。今年度は、郡上農林事務所で運営支援を行っている。

会議では、県GLAMA、中濃ブロック活動、各地区の年間計画並びに次年度について検討した。

また、午後からはアドバイザー以外の3名の女性農業者も加わり、食育かるたづくりを行った。農業普及課では食育かるたづくりの広報活動を支援した。

参加者からは、「地域の食材を題材にして作成したため、改めて中濃地域の特産物を認識することができた」などの意見があった。食育かるたは、イラストを検討し、作成をすすめる予定としている。

今後とも農業普及課では、女性農業経営アドバイザーの活動を支援していく。



【食育かるたづくりの様子】